



千葉労働動向

国鉄千葉動力車労働組合

〒260 千葉市中央区要町2番8号 (動力車会館)

電話 (鉄電) 千葉 2935・2939 番
(公) 043 (222) 7207 番

98.7.6 No. 4813

反戦—反基地を闘う人士が一同に集まる!

臨時国会闘争への決起誓う!



隅谷調査団のデマ発言に怒る

日米新安保ガイドライン関連法案をはじめとする、諸反動法案を阻止するかどうかは、日本の進路を決する歴史的な重大事である。夏の臨時国会での強行成立阻止にむけて、今、職場で地域で奮闘することがもたらされている。

こうした情勢の中で、反対同盟主催の「反基地闘争全国集会」が開催され、猛暑の中、全国から闘う諸団体の代表など七六〇

七・四反基地闘争全国集会 両国公会堂に七六〇名結集

名が結集、三里塚闘争勝利、新安保ガイドライン粉砕にむけての決意を固め、団結を強めてきた。

動労千葉から布施副委員長が決意をなげらせ、熱い連帯の挨拶を送った。全参加者は、この集会を出発点に、戦争参加への道—新ガイドラインの具体化攻撃との闘いにたちあがることを決定した。

主催者挨拶で、三浦五郎氏が、基調報告で北原事務局長が激し怒りをこめて、「隅谷調査団が、最終所見と称して『反対同盟はもう居ない』などとデマをまき散らしている。断じて許せない。われわれを甘く見るなど言いたい」「三里塚を戦争のための基地にしてはならない。」「三二一年間の地平にたち、平行滑走路の二〇〇〇年完成を絶対に阻止する。」とキツパリと宣言された。

全国から七六〇名が結集し、新安保ガイドライン粉砕へ決意をよつちかためた(左:両国公会堂)

「燃える男」市東です!

会場から万雷の拍手!

沖繩から、島田善次氏(宜野湾市民の会)、安次富浩氏(命を守る会)の両氏がかけつけ「三里塚と共に、次世代のために闘う!」「闘いの継続を自分信が勝利の展望、諸悪の根源である基地をなくそう」「アジアの人々と本当に連帯するたかいかい」と訴えられ、胸をうった。

反対同盟からの決意表明は、市東東市氏、鈴木幸司氏、郡司とめさんがおこなった。

市東氏は、冒頭「燃える男、市東です」と切りだし、会場全体が「ヨ—シ」の声援で沸いた。



市東東市さん

反基地、住民闘争を闘う

団体が心ひとつにして

七・四集会には、北富士忍草母の会、関西新空港反対住民をはじめ全国各地で奮闘している団体の代表が一同に集まり、三里塚闘争勝利、臨時国会闘争に心をひとつにして立ち上がることを決意し全国に散った。



座帯のおさつをけろ 布施副委員長

日本支配階級も、破局的危機のなかで必死である。資本主義の終わりが始まったのだ。暑さに負けず、こゝ一番がんばろう。このことを誓い職場に就いた。



「戦争のための基地にしてはならぬ」と基調報告をする北原事務局長

